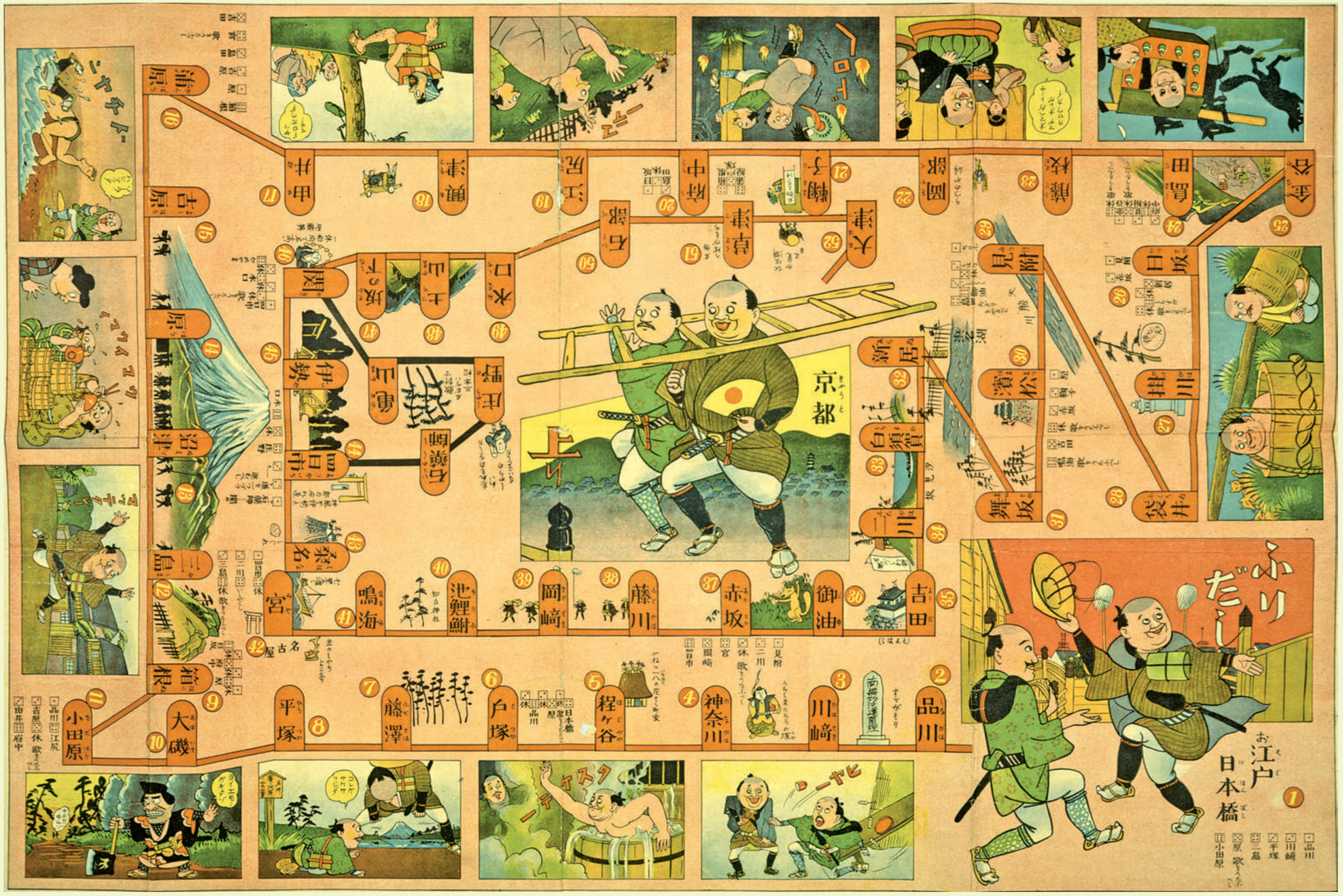
歌ふ弥次喜多双六



「歌ふ弥次喜多双六（すごろく）」で遊んでみましょう

浮世絵文化が花開いた江戸時代、双六は東海道五十三次を進む「道中双六」、現在の人生ゲームに似た「出世双六」などさまざまな種類が作られました。子どもから大人まで一緒に楽しめるお正月の遊びとして、明治・大正時代以降も親しまれてきました。

この「歌ふ弥次喜多双六」は、1936年に製作された映画「歌ふ弥次喜多」（監督：岡田敬）の公開に合わせて発行されたもので、映画の主人公である古川緑波と徳山璉の似顔絵が描かれています。徳山璉は藤沢出身の声楽家・流行歌手で、舞台や音楽映画などで幅広く活躍しました。

勝つも負けるも運次第。みんなで一緒にサイコロを振って、歌いながら遊んでみませんか。

1月22日㈰まで、藤澤浮世絵館で展示会「おもしろ東海道と浮世絵双六勢ぞろい」が開催されています。

「歌ふ弥次喜多双六」も出展しているので、ぜひご覧ください。

問い合わせ
藤澤浮世絵館☎（33）0111、FAX（30）1817

表紙の絵は

絵本作家 かこさとしさんの作品です

かこさんは本市在住で、新年を迎えるに当たり、市民の皆さんのためにイラストを書き下ろしてくれました。

新しき年とよき未来のために
たくましく
うつくしく
すこやかであれ
との思いを込めて描きました

プロフィール

1926年、福井県に生まれる。児童文化の研究者でもある。主な作品に「からすのパンやさん」、「だるまちゃん」シリーズなどがある。90歳になった現在も意欲的に創作を続けている。